

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	【留】日本事情A(0594)	
科目基礎情報							
科目番号	3M44			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科機械・医工学コース			対象学年	3		
開設期	春学期(1st-Q)			週時間数	1st-Q:4		
教科書/教材	授業中配布する資料						
担当教員	平川 武彦,齋 麻子,佐伯 彩						
到達目標							
日本で、八戸で、八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。			日本で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		日本で生活するために必要な知識を学び、活用できない。	
評価項目2	八戸で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。			八戸で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		八戸で生活するために必要な知識を学び、活用できない。	
評価項目3	八戸高専で生活するために必要な知識を学び、主体的に活用できる。			八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できる。		八戸高専で生活するために必要な知識を学び、活用できない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP5 ◎ ディプロマポリシー DP6◎ 地域志向 ◎							
教育方法等							
概要	【開講学期】春学期週4時間 日本および八戸で円滑に生活するための知識を得る。 八戸高専での学業を円滑にできるように基礎的な知識を得る。						
授業の進め方・方法	日英対訳の文献を基礎資料としながら、日本への理解を深める。八戸市内については、可能な限り校外で実践的な活動を行うことで理解を深める。学業の礎となる活動については、チューターなどの協力を得ながら理解を深める。授業方法として、集中講義として、八戸市内外を散策することもある。						
注意点	積極的に参加することが最も重視される。 日本での生活に早く慣れるために、基本的に日本語による自発的な会話を心がけること。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	①ガイダンス/八戸高専を知ろう ②八戸高専を知ろう		提示された課題を理解できる。 八戸高専の主な施設などを理解できる。		
		2週	③④八戸市はどんなところ？生活の場として		八戸市で生活できる基礎的な知識を把握する。		
		3週	⑤⑥八戸市はどんなところ？青森県の、東北地方の、日本の、中での八戸市		八戸市の地理を把握できる。		
		4週	⑦⑧学業の上で必要不可欠な言語を探そう		専門科目の日本語の語彙を把握できる。		
		5週	⑨⑩学業の上で必要不可欠な言語を理解しよう		専門科目の日本語の語彙を把握できる。		
		6週	⑪⑫八戸(日本)とふるさと(母国)の違いを見つめよう		日本と母国の文化の違いを把握できる。		
		7週	⑬⑭八戸(日本)とふるさと(母国)の違いを見つめよう		日本と母国の文化の違いを把握できる。		
		8週	⑮まとめ		日本と母国の文化の違いを把握して、他者に日本語で伝えることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		課題提出等			合計		
総合評価割合		100			100		
基礎的能力		100			100		
専門的能力		0			0		
分野横断的能力		0			0		